

長野県小県郡真田町埋蔵文化財調査報告書第10集

町内遺跡発掘調査報告書 I

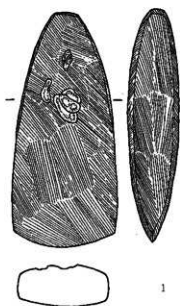
—平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書—

1997・3

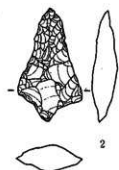
真田町教育委員会

町内遺跡発掘調査報告書 I

—平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書—



1



2

1. 磨製石斧・雁石遺跡出土 (S=54) 石舟区箱山寅三郎氏の所蔵品の一つ。箱山氏の畑から出土したものである。片面に敲打痕がある以外、刃こぼれなどの使用痕がないので、使用されていない製体なのかもしれない。石質は不明。赤褐色や黒、濃緑色の部分がマール状にみられる。
2. 石鏃・雁石遺跡出土 (S=4) 調査時の表採品。黒曜石製。

現況確認調査で発見された主な遺物

1997・3

真田町教育委員会

例 言

- 1 本書は長野県小県郡真田町における埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に伴う、平成7～8年度の試掘調査並びに立会い調査の報告書である。なお、「真田町誌歴史編(上)」の刊行に伴う遺跡の現況確認調査の結果も併せて報告する。
- 2 調査は真田町教育委員会が行った。なお、調査の費用は町費で対応した。
- 3 事務局及び調査の体制は以下のとおりである。

(事務局)	教育長	三井俊男
真 田 町	教育次長	芳沢孝夫
教育委員会	社会教育係長	荒井今朝信 (平成8年3月31日退任)
	社会教育係長	大塚久文 (平成8年4月1日着任)
	社会教育係	和根崎剛・川上麻子
(調査体制)	担当者	和根崎剛 (真田町教育委員会主事、長野県考古学会会員)
	調査員	川上麻子 (真田町教育委員会主事・平成8年3月31日退任)
	調査補助員	萩原喜久江・相馬敏子・田畑しず子・横沢初枝 (真田町臨時職員)
- 4 本文の執筆は和根崎剛が行った。
- 5 調査に係る資料は真田町教育委員会が保管している。
- 6 調査にあたって下記の方々のご指導・ご協力をいただいた。記して感謝申し上げたい。
安藤 裕・川上 元・倉沢正幸・酒井 伎・箱山貞三郎・西沢嘉一・町内各小学校 (順不同・敬称略)

凡 例

- 1 縮尺は各図毎に示した。
- 2 土層の色調は、「新版 標準土色帖」に基づいている。

目 次

例言・凡例・目次

第1章 立会い調査	3
1 原谷地B・C遺跡	3
2 南荒井遺跡	4
第2章 遺跡現況確認調査	5

第1章 立会い調査

1 原谷地B・C遺跡 (遺跡番号36・125)

所在地 真田町大字長字菅平十ノ原1208-244

ほか

事業主体 真田町役場企画課 (当時)
・環境観光課 (当時)

事業名 菅平高原ラグビーランド建設事業

調査期間 平成7年5月2日

調査面積 約0㎡

協議関係者 真田町役場企画課・環境観光課、
真田町教育委員会



1 遺跡の環境と経過

原谷地B・C遺跡は真田町大字長字菅平に所在し、標高1313m前後を測る広大な緩斜面に位置する。原谷地B遺跡は旧石器時代の石刃や彫器、原谷地C遺跡は縄文時代の土器片が出土したというが、遺物の所在は不明である。

今回、真田町が行う菅平高原ラグビーランド建設事業に伴い、外周道路となる町道の拡幅工事が計画され、原谷地B・C遺跡の破壊が懸念されたため、建設予定地を含めて事前の表面採集調査を行うこととなった。

2 調査の結果

原谷地B・C遺跡とも畑地となっている。道路拡幅は遺跡に面しない部分で行うこととし、遺跡内に工事が及ぶ懸念は無くなったが、両遺跡とも耕作土の入れ替えが行われた際に、既に遺物包含層を失っていた。

また、ラグビーランド予定地内の包蔵地の有無を確認するため、表面採集調査を実施した。全域が畑地となっており、縄文土器片を1点のみ採集した。磨耗が著しく、他から流入したものと判断した。また、土層堆積状況の分かる3地点の露頭を観察したところ、全地点で耕作土直下にローム層がみられたので、耕作土の入れ替えが行われたものと判断した。このような状況から包蔵地は存在しないと判断した。

結果として、原谷地B・C遺跡の壊滅を確認することとなったが、今後このような耕作土の入れ替えなどに細心の注意を払っていききたい。



原谷地B遺跡



原谷地C遺跡

2 南荒井遺跡 (遺跡番号96)

所在地 真田町大字本原宇南荒井1050-14
事業名 個人住宅 及び
プレハブ型車庫兼作業場の建築
調査期間 平成9年2月14日
調査面積 0㎡
協議関係者 建築主、工事施工者、
真田町役場情報政策課・建設課、
真田町教育委員会



1 遺跡の環境と経過

南荒井遺跡は、真田町大字本原宇南荒井に所在し、神川の河岸段丘上の緩斜面に位置する。平安時代の遺跡として登録されており、以前に土師器が表採されたという。

この度、個人住宅の建築が計画され、真田町役場情報政策課から該当地の埋蔵文化財の有無について照会があり、周知の南荒井遺跡の存在が判明したため、関係者で協議を行った。その結果、該当地で既に工事掘削が始まっていたため、立会い調査を実施することとなった。

2 調査の結果

掘削は地表から40cm程度のものであったが、既に地山であるローム層が現れていた。該当地は過去に掘削されていたらしく、表土の下に庭石状の1×1.5 m前後の平らな石が埋められ、住宅建築にあたり、この石を撤去する作業の最中であった。土層断面からもローム層の直上に表土が広がり、遺構・遺物は確認できなかった。また、建築予定地及び周辺の表面採集調査も実施したが、遺物は確認されなかった。



遺跡近景 (西から)



基本層序



石の除去状況

第2章 遺跡現況確認調査

真田町では町制40周年記念事業として、「真田町誌」の編纂を進めており、原始～古代の歴史を扱う「歴史編（上）」の刊行を目前に控え、教育委員会では平成8年3月～7月（計4日間）に、町内遺跡の現況確認調査を実施した。当町では平成9年度から国・県の補助金を得て、遺跡詳細分布調査を実施する予定であり、今回の確認調査はその予備調査としての役割も有している。

調査は昭和52年作成の遺跡分布地図を頼りに、登録されている遺跡の現況を調査した。調査は踏査によるもので、必要に応じて表面採集調査を併せて実施した。地図作成時以来の調査であったため、遺跡のいくつかは既に破壊され所在不明になっているなど、改めて詳細な分布調査の必要性を痛感した。

調査の結果を表に掲げる。なお、以下の点に注意されたい。

- ① あくまでも遺跡の現況を調査したもので、その範囲・性格等については以後の調査に委ねる。
- ② 長野県史の遺跡地名表に登録され、当町の分布地図には登録されていない遺跡は、詳細分布調査の際に所在等を確認することとしたが、それらは仮の遺跡番号を付して掲載した。
- ③ 最近、その取り扱いが検討されている中近世、近代の遺跡については、性格、重要度などを踏まえたうえで、選択して分布地図に登録する方針であるが、未だ検討段階のため、今回は仮の遺跡番号を付して掲載した。



小島沖遺跡（菅平）の現況



前熊久保岩陰遺跡（菅平）の現況



唐沢B遺跡（菅平）の現況



唐沢B遺跡発掘のようす（昭和43年・撮影 安藤 裕氏）

町内遺跡状況一覧表

平成8年7月3日現在

番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
1	旧	石ノ山遺跡	菅平	土地改良により一部破壊 (文獻1)	29	弥生	長寿園C遺跡	菅平	
2	縄文	西組E遺跡	菅平		30	縄文	廣沢A遺跡	菅平	(文獻1)
3	縄文	西組F遺跡	菅平	(文獻1)	31	旧	廣沢B遺跡	菅平 十ノ原	昭和43年発掘調査(文獻1-10-11)、現在は畑地となっている
4	旧	西組D遺跡	菅平	(文獻1)	32	縄文	廣沢C遺跡	菅平	現在は畑地となっている (文獻1)
5	縄	西組C遺跡	菅平		33	旧	廣沢D遺跡	菅平	(文獻1)
6	縄	西組B遺跡	菅平		34	縄文	廣沢E遺跡	菅平	
7	旧	西組A遺跡	菅平		35	縄文	徳沢F遺跡	菅平	フロンティア牧場遺跡を改称、牧場跡地跡にて一部破壊(文獻1)
8	縄	中組A遺跡	菅平	昭和35年発掘調査(文獻2)、 住宅建設に伴い一部破壊	36	旧	原谷地B遺跡	菅平 十ノ原	土地改良で全壊(文獻1-12)
9	平安	山本庫遺跡	菅平	昭和51年発掘調査(文獻3-4-5-6)、 一部が住宅となっている	37	縄文	原谷地A遺跡	菅平 十ノ原	(文獻1)
10	縄文	玉升山B遺跡	菅平	(文獻1)	38	縄	廣沢岩陰遺跡	菅平 十ノ原	昭和38年発掘調査(文獻1-13-14)、 発掘定史跡
11	縄文	玉升山A遺跡	菅平		39	旧	三日城遺跡	菅平 三日城	(文獻1-15)
12	旧	学校敷地遺跡	菅平	菅平小中学校校舎改築工事により 一部破壊(文獻1-7-8)	40	縄文	稲野神社遺跡(お いなりさん遺跡)	菅平	リフト建設により半壊、現在は グレンジ(文獻1)
13	縄文	矢道野原遺跡	菅平		41	旧	小島沖遺跡	菅平	土地改良により一部破壊、現在は 畑地となっている(文獻1-16)
14	縄文	小坂沢石表遺跡	菅平	工事の建設により一部破壊	42	旧	内組A遺跡	菅平	資材置き場となっている (文獻1)
15	弥生	東組G遺跡	菅平	土地改良により全壊	43	縄	坊玉社遺跡	菅平	
16	縄文	東組A遺跡	菅平	(文獻1)	44	縄文	三本松A遺跡	菅平 十ノ原	
17	旧	東組B遺跡	菅平		45	縄文	三本松B遺跡	菅平 十ノ原	
18	縄	東組C遺跡	菅平		46	縄	スモン原遺跡	菅平 十ノ原	現在、畑地となっている
19	縄文	東組D遺跡	菅平	昭和26-27年発掘調査(文獻1-2-9)、 住宅建設で一部破壊	47	平安	うすら沢A遺跡	菅平 十ノ原	新築建設のため一部破壊
20	縄文	東組E遺跡	菅平	土地改良により一部破壊 (文獻1)	48	縄	うすら沢B遺跡	菅平 十ノ原	(文獻1-17)
21	縄文	東組F遺跡	菅平	(文獻1)	49	縄	陣の岩宮陰遺跡	菅平 十ノ原	昭和41年発掘調査(文獻1-18-19-20-21)
22	縄文	野原遺跡	菅平	グラウンド建設により全壊	50	縄	宮前久保岩陰遺跡	菅平 十ノ原	異状なし
23	縄	産子湧水遺跡	菅平	テニスコート・駐車場になり 全壊	51	縄文	土合遺跡	大日向 土合	現在、畑地となっている
24	縄文	白樺森前遺跡	菅平	駐車場建設の際に半壊 (文獻1)	52	縄文	和興A遺跡	大日向 和興	
25	旧	田尻跡場西行遺跡	菅平		53	縄文	和興B遺跡	大日向 和興	
26	縄文	駐車場前遺跡	菅平 十ノ原	公園となり一部破壊(文獻1)	54	縄文	岩屋敷岩陰遺跡	角間 岩谷	観音堂が建てられている
27	縄	長寿園A遺跡	菅平 十ノ原		55	平安	モロウノ原遺跡	角間 岩谷	
28	縄	長寿園B遺跡	菅平	昭和49年発掘(確認中)	56	縄文	芳の手遺跡	角間 芳の平	現在、畑地となっている

番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
57	縄文	大明神遺跡	角間 角間	現在、畑地となっている	85	縄文	松葉田遺跡	戸沢 松葉田	現在、畑地となっている
58	縄文	日向A遺跡	角間 日向		86	縄一	石舟遺跡	石舟	昭和49年発掘調査 (文獻25・26)
59	縄文	日向B遺跡	角間 日向		87	縄文	藤石遺跡	石舟 原石	昭和49・60年発掘調査(文獻25・26)、一部畑地で遺跡が残る
60	平安	角間遺跡	角間 角間		88	縄文	山道家遺跡	横尾 山道家	現在、畑地となっている
61	中世	日向知遺跡	角間 日向	昭和46年発掘調査(文獻22・23・24)、町指定史跡	89	縄一	四日市遺跡	横尾 四日市	平成元・5-7年発掘調査 (文獻27・28・29・30)、一部畑地で遺跡が残る
62	縄文	上屋敷遺跡	横沢 上屋敷	現在、畑地となっている	90	円墳	荒井古墳	荒井	所在不明
63	縄文	米原遺跡	角間 米原		91	円墳	釣山古墳	十輪寺 西畷	所在不明
64	縄文	横橋遺跡	角間 横橋		92	円墳	下塚1号墳	下塚	りんご畑の中にあり、石室が露出
65	平安	上法性寺遺跡	横沢	住宅の増改築の際に瓦輪塔が出土したという	92	円墳	下塚2号墳	下塚	半壊、石仏等が盛んでいる
66	縄文	真田遺跡	真田	現在、畑地となっている	93	縄一	山崎遺跡	中塚 山崎	宅地化が進んでいるので危険される
67	縄文	鳩尾遺跡	入船井沢		94	縄文	竹室遺跡	竹室	宅地化が進んでいるので危険される
68	旧石	新地遺跡	入船井沢		95	縄文	表木遺跡	表木	団地造成にもない一部破壊
69	縄文	芳塚遺跡	入船井沢		96	平安	南荒井遺跡	南荒井	土地改良で一部破壊(文獻12)
70	縄文	サルガ地遺跡	入船井沢		97	円墳	北白旗古墳	北白旗	
71	縄文	城山遺跡	入船井沢		98	円墳	観音院古墳	観音院	
72	中世	唐沢遺跡	入船井沢		99	円墳	広山寺古墳	上塚 唐町上	町指定史蹟として保護されている
73	縄文	前のお田遺跡	入船井沢		99	円墳	竹藪塚古墳	上塚 南町上	一部が竹藪、石室が露出している
74	平安	樋口遺跡	入船井沢		99	(こよじ塚古墳)	上塚 南町上	墳丘、石室はない、こよじ塚の伝承に基づき石陣がある、六墳ではないと想定される	
75	縄文	笹沢遺跡	入船井沢		100	縄一	南町上遺跡	上塚 南町上	宅地化が危険される
76	縄文	赤石B遺跡	中塚遺 赤石		101	円墳	北番匠古墳	北番匠	所在不明
77	縄文	赤石A遺跡	中塚遺 赤石		102	平安	北番匠B遺跡	北番匠	宅地となり金機(文獻27)
78	縄文	小塚遺跡	中塚遺 小塚		103	平安	北番匠A遺跡	北番匠	
79	縄文	上平遺跡	穴沢 上平		104	平安	藤沢遺跡	藤沢	昭和49年発掘(文獻25-31)
80	縄文	上日影遺跡	中塚遺上日影		105	円墳	藤沢1号墳	藤沢	町指定史蹟として保護されている
81	縄文	宮の前遺跡	藤 宮の前		105	円墳	藤沢2号墳	藤沢	町指定史蹟として保護されている
82	縄文	中村遺跡	藤 中村	J A 傍隈支所地となり全壊	106	円墳	町下1号墳	上塚 町下	奥跡のみを残す
83	縄文	早稲田遺跡	赤尾 早稲田						
84	縄文	柳又遺跡	戸沢 柳又	住宅となり一部破壊					

番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
106	円墳	町下2号墳	上原 町下	石室は残る	仮128	縄文	たな池遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	町下3号墳	上原 町下	須壁、天井石が残る	仮129	縄文	ジャンプ台遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	町下4号墳	上原 町下	所在不明	仮130	縄文	大岡遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	町下5号墳	上原 町下	須壁、須壁、天井石が残る	仮131	縄文	北宿牧場境の不動遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
107	円墳	桜林1号墳	東出早	須壁削平され、石室が見えている	仮132	縄文	第三陣持岩遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	桜林2号墳	東出早	須壁、須壁が残る	仮133	縄文	第二牧場遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
108	円墳	嶋の子田古墳	下原	所在不明	仮134	縄文	大明神沢遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中 (文獻33-34)
109	円墳	九九廻1号墳	下原 九九廻	須壁、天井石が残る	仮135	縄文	北宿牧場事務所南遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	九九廻2号墳	下原 九九廻	所在不明	仮136	縄文	北宿牧場北西の小沢遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
110	円墳	矢倉城古墳	東出早	石室の一部が残存、個人宅の庭にあり	仮137	縄文	北宿牧場北西の上原遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
111	円墳	西出早1号墳	西出早	須壁、天井石の一部が残存、道端畑にあり、五輪埴などが出土	仮138	縄文	菅田氏祖遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
	円墳	西出早2号墳	西出早	須壁、天井石の一部が残存、個人宅の庭にあり	仮140	縄文	鳥居峠遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
112	円墳	村中古墳	下原 村中	竹藪のなかに天井石と思われる石があり、網がまつられている	仮141	縄文	四河山中段遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
113	円墳	羽毛田古墳	下原 羽毛田	所在不明、壊滅したらしい	仮142	縄文	磨沢第四石輪遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
114	円墳	小沼長者古墳	下原 西田	所在不明(文獻32)	仮143	縄文	中尾大川地遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
115	縄文	埴田遺跡	下原 埴田	平成6年発掘調査(文獻32)	仮144	縄文	下沢沢遺跡	菅平 / 十ノ原	遺跡の存在について調査中
116	弥生	西尾洞穴遺跡	菅平	昭和34年発掘調査(確認中)	仮145	古墳	しょてばら遺跡	菅平 / 十ノ原	菅平高原自然館に遺物有り
117	旧石	原敷遺跡	菅平		仮146	縄文	のほろ遺跡	菅平 / 十ノ原	遺跡の存在について調査中
118	縄文	大明神洞窟遺跡	菅平 / 十ノ原		仮147	縄文	三本松入遺跡	菅平 / 十ノ原	遺跡の存在について調査中
119	縄文	秋葉山遺跡	菅平		仮148	縄文	磨沢第二石輪遺跡	菅平 / 十ノ原	遺跡の存在について調査中
120	縄文	ダボス下遺跡	菅平 / 十ノ原		仮149	縄文	生物実験センター裏遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
121	古墳	酒井畑遺跡	菅平		仮150	縄文	イタゴヤ遺跡	菅平 / 十ノ原	遺跡の存在について調査中
122	弥生	鹿畑遺跡	菅平		仮151	縄文	田中別荘内遺跡	菅平 / 十ノ原	遺跡の存在について調査中
123	縄文	大松山遺跡	菅平		仮152	縄文	富沢畑遺跡	菅平 / 十ノ原	菅平高原自然館に遺物有り (文獻1)
124	縄文	奥ダボス遺跡	菅平 / 十ノ原		仮153	縄文	東組1遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
125	縄文	原谷地C遺跡	菅平	土地改良により全壊(文獻12)	仮154	縄文	木戸沢遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
126	縄文	原谷地D遺跡	菅平		仮155	縄文	密光寺保護遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中
127	中一	西田遺跡	下原 西田	平成6年発掘調査(文獻32)	仮156	縄文	山の神遺跡	菅平	遺跡の存在について調査中

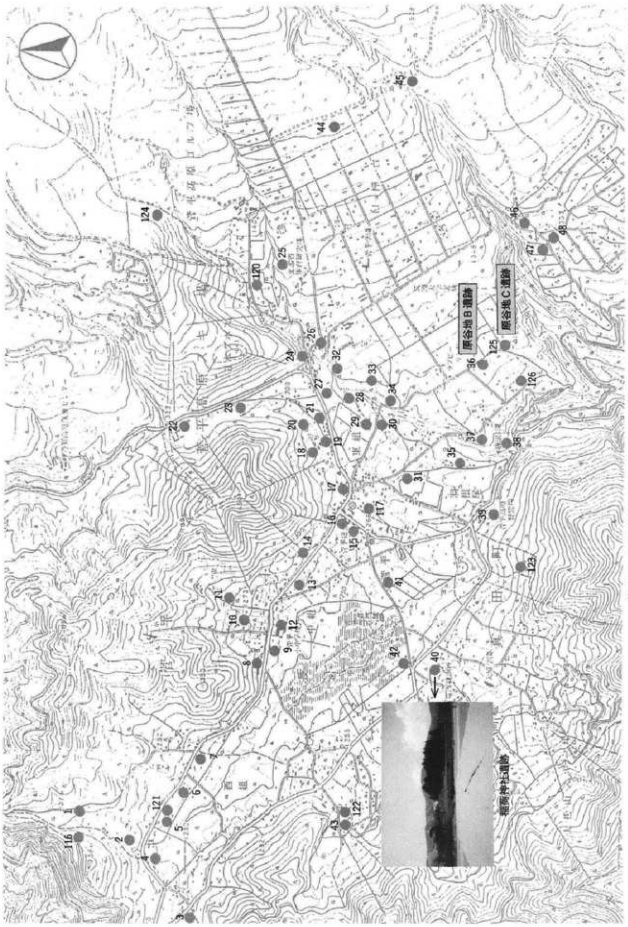
番号	時代	名称	所在地	現況等	番号	時代	名称	所在地	現況等
仮157	弥生	廣尾岩跡遺跡	大日向 和熊	長小学校に遺物有り	仮182	縄一	上平遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮158	縄一	善慶遺跡	横沢 善慶	長小学校に遺物有り	仮183	縄文	南野沢遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮159	縄文	松尾城付近遺跡	横沢	遺跡の存在について調査中	仮184	縄文	北野沢遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮160	平安	長谷寺遺跡	横沢 長谷寺	遺跡の存在について調査中	仮185	縄一	上原遺跡	上原	遺跡の存在について調査中
仮161	縄文	小学校前遺跡	真田	長小学校に遺物有り	仮186	縄一	赤井開墾地遺跡	赤井	遺跡の存在について調査中
仮162	縄一	蓮合遺跡	横尾 蓮合	89四日市遺跡に含める	仮187	円墳	番匠古墳	番匠	古墳の存在について調査中
仮163	縄文	船久保	十林寺 船久保	遺跡の存在について調査中	仮188	円墳	藤沢古墳	大畑 藤沢	古墳の存在について調査中
仮164	旧一	平石遺跡	十林寺 平石	遺跡の存在について調査中	仮189	円墳	広崎古墳	上原 南町上	古墳の存在について調査中
仮165	縄文	越井沢遺跡	八越井沢	遺跡の存在について調査中	仮190	円墳	西蔵古墳	中原	古墳の存在について調査中
仮166	縄文	御王遺跡	穴沢	遺跡の存在について調査中	仮191	中世	真田氏本城址	十林寺 船久保	町指定史跡(文獻35)
仮167	縄文	泰山開墾地遺跡	萩	遺跡の存在について調査中	仮192	中世	松尾城址	角間	町指定史跡(文獻35)
仮168	縄文	泰山遺跡	萩	遺跡の存在について調査中	仮193	中世	横尾城址	横尾	町指定史跡(文獻35)
仮169	縄文	東太郎山遺跡	大畑	遺跡の存在について調査中	仮194	中世	内小屋城址	横尾	町指定史跡(文獻35)
仮170	縄文	上沖遺跡	田中 上沖	遺跡の存在について調査中	仮195	中世	横小屋城址	曲尾	町指定史跡(文獻35)
仮171	縄文	田中遺跡	田中	遺跡の存在について調査中	仮196	中世	洗馬城址	萩	町指定史跡(文獻35)
仮172	縄一	南番匠遺跡	南番匠	遺跡の存在について調査中	仮197	中世	天白城址	赤井	町指定史跡(文獻35)
仮173	縄一	環合遺跡	下原	遺跡の存在について調査中	仮198	中世	真田氏姉跡	小三上野沢	町指定史跡(文獻36)
仮174	縄文	大畑遺跡	大畑	遺跡の存在について調査中	仮199	中世	真田幸隆公夫妻の墓	真田 長谷寺	宝篋印塔-長谷寺境内にある
仮175	縄文	地蔵堂遺跡	下原	遺跡の存在について調査中	仮200	中世	真田昌幸公の墓	真田 長谷寺	宝篋印塔-長谷寺境内にある
仮176	縄文	九ヶ館遺跡	下原 九ヶ館	遺跡の存在について調査中	仮201	中世	真田信綱公の墓	横尾 信綱寺	宝篋印塔-信綱寺境内にある
仮177	縄一	東出早遺跡	東出早	遺跡の存在について調査中	仮202	近世	下原御倉跡	下原 現田	現存し、現在も使用
仮178	縄文	羽毛田遺跡	下原 羽毛田	遺跡の存在について調査中	仮203	近世	小沼求女氏館跡	下原 西田	古文書に位置が記載。調査したが遺構は検出されず(文獻32)
仮179	古一	町上遺跡	上原	遺跡の存在について調査中	仮204	近代	菅ノ沢風穴跡	三島平	入口が現存、内部も良好
仮180	縄一	花水遺跡	上原	遺跡の存在について調査中	仮205	近代	永沢風穴跡	中畑	
仮181	縄文	北赤井遺跡	上原	遺跡の存在について調査中	仮206	近代	とら平風穴跡	中畑	

【真田町の遺跡に関する主な文献】

※番号は表中の文献番号と符合

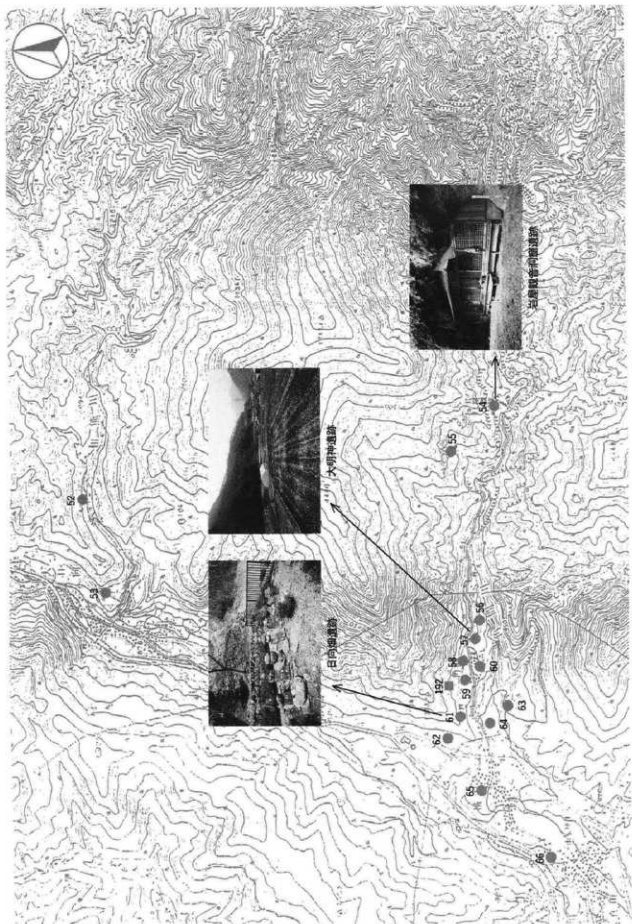
- 1 菅平研究会 1970 『菅平の古代文化』
- 2 八幡一郎・上野住也 1967 「長野県菅平東組の早期縄文式文化遺跡について」『考古学雑誌』48-2
- 3 坂口益次 1976 「山本畑遺跡—平安時代住居址」『あずまや』15
- 4 川上 元・坂口益次・小原 等・飯島繁夫・林 和男 1977 「菅平高原山本畑遺跡緊急発掘調査報告」『長野県考古学会誌』29
- 5 川上 元 1978 「山本畑遺跡」『日本考古学年報』29
- 6 真田町教育委員会 1977 「山本畑遺跡緊急発掘調査報告」(文獻4の別刷り)
- 7 森嶋 稔 1977 「菅平・学校敷地遺跡出土の旧石器文化資料の意味するもの」『上田・小県』29
- 8 川上 元 1968 「長野県菅平高原の先土器文化遺跡①・②」『信濃』Ⅲ20-4・20-11
- 9 五十嵐幹雄 1954 「長野県小県郡長村菅平東組遺跡調査概報」『信濃』Ⅲ6-7
- 10 森嶋 稔 1968 「長野県小県郡真田町唐沢B遺跡の調査」『日本考古学協会43年度大会発表要旨』
- 11 森嶋 稔 1969 「小県郡唐沢B遺跡」『信濃考古』28
- 12 真田町教育委員会 1997 「町内遺跡発掘調査報告書Ⅰ」
- 13 永峯光一・樋口昇一 1967 「長野県唐沢岩陰」『日本の洞穴遺跡』
- 14 長野県教育委員会 1977 「菅平唐沢岩陰遺跡」『県指定文化財調査報告』
- 15 川上 元 1967 「部分異形磨製石器の新資料」『信濃』Ⅲ19-4
- 16 小原 等 1973 「小県郡真田町菅平小島沖遺跡出土の石器」『長野県考古学会誌』16
- 17 下平秀夫 1973 「ウズラ沢B遺跡出土の土器」『土師式土器集成本編』3
- 18 丸山敏一郎 1966 「菅平洞窟遺跡(障の岩遺跡)予備調査概報」『信濃考古』15
- 19 丸山敏一郎 1967 「菅平障の岩遺跡について」『信濃考古』16・17
- 20 丸山敏一郎 1968 「長野県菅平障の岩岩陰遺跡調査概報」『信濃』Ⅲ20-5
- 21 永峯光一 1971 「長野県小県郡障の岩岩陰」『日本考古学年報』19
- 22 川上 元・小林幹男 1973 「真田町・日向畑遺跡の発掘調査」『上小考古』2
- 23 川上 元 1973 「日向畑遺跡」『日本考古学年報』24
- 24 真田町教育委員会 1973 「真田町日向畑遺跡発掘調査報告書」
- 25 真田町教育委員会 1975 「雁石・藤沢」
- 26 川上 元 1976 「雁石遺跡」『日本考古学年報』27
- 27 真田町教育委員会 1990 「四日市遺跡Ⅰ」
- 28 真田町教育委員会 1996 「四日市遺跡Ⅱ」
- 29 真田町教育委員会 1997 「四日市遺跡Ⅲ」
- 30 和根崎剛 1996 「真田町四日市遺跡出土の塊状耳飾り」『長野県考古学会誌』80
- 31 川上 元 1976 「藤沢遺跡」『日本考古学年報』27
- 32 真田町教育委員会 1996 「境田遺跡・西田遺跡」
- 33 神田五六 1938 「石器時代遺跡菅平洞窟に就いて」『信濃』17-1
- 34 栗岩英治 1939 「菅平弥生式洞窟遺跡」『県史蹟報告』20
- 35 真田町教育委員会 1982 「真田氏城跡群」
- 36 真田町教育委員会 1992 「真田氏館跡」

※参考資料：長野県史刊行会 1981 「長野県史考古資料編1-1遺跡地名表」



S = 1 / 25,000

第1図 真田町遺跡分布地図 その1 (菅平地区)

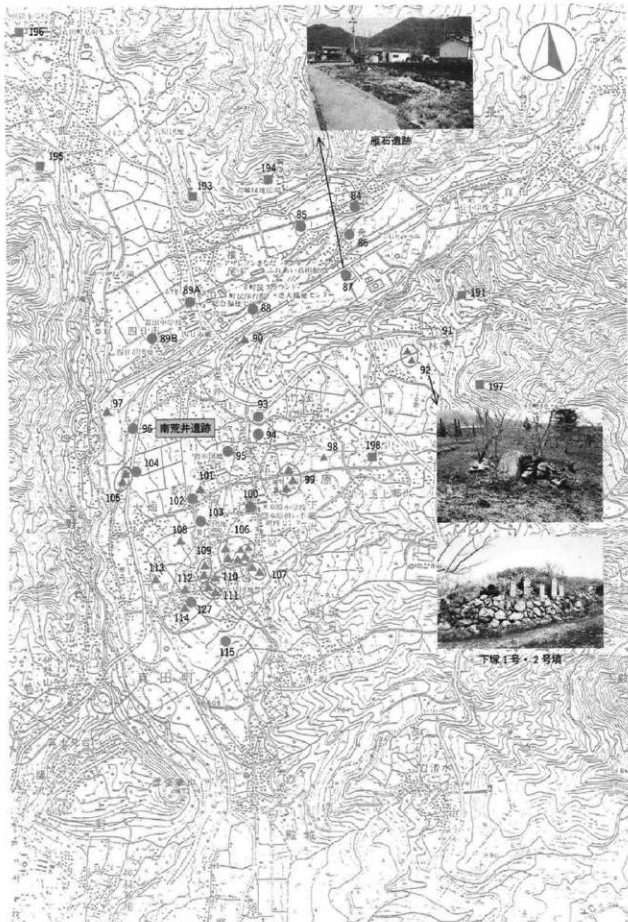


第2図 真田町道路分布地図 その2 (長地区D)



第3図 真田町遺跡分布地図 その3 (約陸奥地区)

S = 1/25,000



第4図 真田町遺跡分布地図 その4 (長地区②・本原地区)

S = 1/25,000

報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせきはくつちょうさほうこくしょ いち							
書名	町内遺跡発掘調査報告書 I							
副書名	一平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書一							
巻次								
シリーズ名	真田町埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第10集							
著者名	和根崎 剛							
編集機関	真田町教育委員会							
所在地	㊦ 386-22 長野県小県郡真田町大字長7199-1 ㊦0268-72-2655							
発行年月日	1997年3月21日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
原谷地B遺跡	長野県小県郡 真田町大字長 字菅平		36			1995年 5月2日		菅平高原ラグ ビーランド建設
原谷地C遺跡	大字長字菅平		125			1995年 5月2日		同上
南荒井遺跡	大字長 字南荒井		96			1997年 2月14日		個人住宅建設
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
原谷地B遺跡	包蔵地	旧石器時代	既に破壊	検出されず		立会い・表探調査を実施		
原谷地C遺跡	包蔵地	縄文時代	既に破壊	検出されず		立会い・表探調査を実施		
南荒井遺跡	包蔵地	平安時代	既に破壊	検出されず		立会い・表探調査を実施		

真田町埋蔵文化財発掘調査報告書

- 1973 第1集 「日向畑遺跡」 中世の墳墓群の調査。五輪塔などが出土。
- 1975 第2集 「雁石・藤沢」(品切) 縄文後晩期の配石遺構、石棺墓を検出。称名寺式土器の優品、ミニチュア土器、土製耳飾等が出土。
- 1977 第3集 「山本畑遺跡緊急発掘調査報告書」(品切) 平安時代の住居址2棟。須恵器の耳皿。
- 1982 第4集 「真田氏城址群」(残部僅少) 真田氏本城、横尾城などの概要調査報告書。
- 1990 第5集 「四日市遺跡」 縄文中期後葉、平安時代の集落址の調査。加曾利E式土器、唐草文系土器が主体。
- 1992 第6集 「真田氏館跡」 真田氏館跡の調査。厩跡、土塁等を確認。
- 1996 第7集 「四日市遺跡Ⅱ」 縄文前期中葉、中期後葉、古墳時代後期、平安時代の集落址の調査。関山式土器、珠状耳飾り、加曾利E式土器、唐草文系土器などが出土。花積下層式土器の搬入品。古墳時代後期の一括資料など。
- 1996 第8集 「境田遺跡・西田遺跡」 古墳時代後期、平安時代の集落址の調査。石製模造品、石組みの煙道が出土。
- 1997 第9集 「四日市遺跡Ⅲ」 縄文前期中葉、古墳時代後期、平安時代の集落址の調査。有尾式土器、諸磯a式土器、北白川下層Ⅱ式土器、珠状耳飾りなどが出土。
- 1997 第10集 「町内遺跡発掘調査報告書Ⅰ」

町内遺跡発掘調査報告書 I

—平成7～8年度試掘及び立会い等調査報告書—

1997年3月21日 発行

編集 真田町教育委員会

発行 真田町教育委員会

印刷 ほおずき書籍株式会社

